



深川社協だより

# ふかわ

第 64 号

2025.3.1

絵は河野香代美さん（深川1丁目）

■編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会

毎年大晦日の0時近くになると、尾和金毘羅神社に地元や里帰りの参拝者が集まります。皆で新年を迎え「明けましておめでとうございませう」を唱和します。続いて順次参拝し一年間の幸運をお祈りします。（写真は令和7年の様子）その後、大人はお神酒、子供はお菓子を頂きます。初詣は伝統行事で尾和自治会が運営しています。

尾和自治会 会長 平野 雅幸



金毘羅神社外の風景



## 〇〇問題とこれからの地域社会

年齢の構成などでよく〇〇問題などと言われることがあります。今年は何れの世代が全員75歳以上の後期高齢者（全人口の5人に1人が75歳以上）となります。いわゆる2025年問題です。生まれて何かと話題となってきた年代ですが、今、再び社会の脚光を浴びることになりました。そして2040年問題。団塊ジュニア世代が65歳以上を迎え、総人口に占める高齢者の割合が大幅に増加（35%）。超高齢化社会への突入です。さらに昨年末の中国新聞に2050年には全世界に占める1人暮らしの割合が27の都道府県で40%を超える（※）と報じていました。少子高齢化と一緒に住む家族の人数も減少ということのようです。

先日、映画「ぼけますから、よろしくお願ひします」を撮られた信友直子さんの講演を聞く機会がありました。印象深いお話の中の一つ。「社会参加という言葉があるけど、年寄りにとつての社会参加は、社会に甘えることじゃの。わしも人に助けてもらわんと暮らされん年になつたということじゃ。」お父さんの100歳の誕生日の日の言葉です。

人はいつまでも元気で生活したいが、踏ん張り切れなくなつてくじけてしまひそうになることだつてあります。多様な生き方が受け入れられると同時に、孤独や孤立を生まないよう支え合える地域社会でありたいものです。

（※）国立社会保障・人口問題研究所発表

深川地区社会福祉協議会

会長 山口悦朗



深川学区防災訓練を行いました

令和5年度に引き続き、令和6年11月3日(日)に深川学区防災訓練を行いました。前日2日(土)に大雨警報(土砂災害)が発表され、広島県の土砂災害警報レベル4となり、深川地区でも皆さんの携帯のアラーム音が何度も鳴ったこともあり、当日の訓練は、本番さながらの緊張感を持って行っていたただけではないかと感じました。

当日は、初の試みとして、まずは9時の警報サイレンを確認後、尾和、下庄、上庄地区は、安佐北区スポーツセンターへ一次避難、その後高陽中学校体育館へ移動し、奥迫、陰地、深川台、中郷、院内、西塚と合同で防災訓練を行いました。



避難場所の説明を受ける



トイレの説明を受ける

が、参加された多くの方が、最終避難場所を高陽中体育館だと認識されていた点です。再度、防災士より、最終避難場所を実際にご確認、説明をさせていただいたことで、正しい最終避難場所を皆さんにご理解いただけたと思います。当日は、各地域の自治会長様、消防団、女性会、自治会関係者など、多くの方のご協力の下、無事に訓練を行うことができました。今後も防災訓練を継続しながら、一人一人が防災意識を高め、地域のつながりを大切に、いざという時にお互い協力できるような体制作りができれば良いと思いました。



心臓マッサージ体験

深川防災士会 水川 薫

深川地区社協のご案内

住所	安佐北区深川 5丁目13-12 高陽公民館内
開所日	毎週水・金曜日
時間	9:00~12:00
相談員	2名が対応します
内容	困りごとの相談 車いす貸し出し 皆さんとの交流等
電話	082-824-8501
FAX	082-824-8501

深川社協からのお知らせ

令和六年度・永年にわたり地域福祉に貢献されたことにより、左記の方々表彰されました。

広島市社会福祉大会

社会福祉協議会関係功労者

立川 幸恵 (深川八丁目)

安佐北区社会福祉大会

深川地区地域福祉功労者

加藤 洋子 (深川三丁目)

岩本 秀子 (深川六丁目)

山口 昌利 (深川四丁目)

(順不同・敬称略)

深川地区のウォーキングマップが完成しました。

高陽公民館に置いてありますので、興味のある方はどうぞ





広島型地域運営組織

「ひろしまLMO」

への参画について

令和4年7月 広島市から企画立案された、住民同士が支えあい、安全・安心に暮らすことが出来る地域を創り、持続可能な地域社会の実現を図ることを目的として、多様な主体（地域の諸団体）が連携しながら地域課題の解決に取り組む地域の代表である「ひろしまLMO」の認定制度が開始されたことを令和5年11月に知りました。

早速 安佐北区役所地域起こし推進課に確認を取り、手続きの方法をお聞きし設立認可手続き書類を作成し12月に提出しました。翌 令和6年1月19日に許可手続きを進める承諾をもらいました。

早速事務所陣容の体制作りと事務所にするべく空き家を、子ども食堂の運営を進めていくNPO組織のホームページと一緒に改善に取り掛かりました。



ふかわのおうち全景

しかし、ひろしまLMOの年間予算が人件費を除くと300万円しか確保できず、建物の改修費に500万円ほど必要となり大幅な不足となりました。このため 地域の皆様・企業様への支援のお願いと子ども食堂設立の為に補助金等を充当する工夫をしました。おかげで、目標額をほぼ達成できました。大変ありがとうございました。

これにより子ども食堂が令和6年9月から、及び「深川学区まちづくり協議会」事業の一つである（地域カフェ）が令和6年12月から運営を始めます。

「深川学区まちづくり協議会」は、令和6年3月19日に認可を受けており引き続き 令和7年度には、新規の事業を計画し 地域の多様な組織と連携して持続的に支援できる事務所となるように努力したいと考えていますので、皆様の更なるご協力宜しくお願い申し上げます。



地域カフェの風景

深川学区まちづくり協議会  
深川地区自治会連合会

会長 福岡 壽



愛のともしび

深川地区社会福祉協議会に対し、福祉事業の活動にお役立てくださいと、次の方々から香典返し他のご厚志をお寄せいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。（令和六年七月〜十二月）

- 増井 洋子 (深川五丁目)
- 中野 繁子 (深川七丁目)
- 岸 ヨシ子 (深川三丁目)
- 末本 孝也 (深川六丁目)
- 宮本 巖 (深川二丁目)
- 河野 佑一 (深川一丁目)

(受付順 敬称略)  
お寄せいただいた募金は深川地区社会福祉事業の活動に役立てさせていただきます。ありがとうございます。

【深川地区社会福祉協議会】  
☎ 824-8501

赤い羽根共同募金のお礼

令和六年（二月三十一日まで）赤い羽根共同募金にご協力いただき有難うございました。深川地区においては六十五万九千九百〇〇円のご支援を頂き共同募金会へ送金致しましたこと、ご報告申し上げます。

深川地区社会福祉協議会



## いきいきサロン便り

みささの会  
(上庄・下庄・尾和)  
代表 小田 通子

## みんなで初笑い！

会場に琴の澄んだ音色が響き、巳年最初のみささの会が始まりました。ボランティアの藤島マユミさん演奏「六段の調べ」に聴き入る皆さんの表情はうっとりとして穏やか…。それに、どこか改まった神聖な雰囲気も…。

静かで落ち着いた空気感の中、恒例のお誕生日会に移ります。1月生まれば3人。ミニブーケのプレゼントとハッピーバースデーの歌でお祝いです。

さあ、いよいよ、本日のメインイベント「落語」の時間になりました。

アマチュア落語家 秋風亭 小まゆ さんの登場です。演目は「松山鏡」という古典落語。鏡というものを見たことのない越後の松山村の正助とその女房のお光、そして、隣村の尼さんがおりなす三者三様の思い違いが騒動を引き起こす、単純だけれど滑稽で味わい深いお噺でした。

小まゆ さんの流暢な喋りと顔の表情、上半身の動きに皆さんどんどん引き込まれ、会場は途中何度も大きな笑い声に包まれました。休憩時間には、みんなでお汁粉を頂きながら「生の落語は初めて。凄く面白かった！」「また、聞きたいね！」「楽しかった！」とお喋りが盛り上がりました。

“笑いは健康の源”とよく言われます。今年も皆さんと一緒に楽しく笑い、生き生きと元気な「笑顔の花」をたくさん咲かせていきたいと思いました。



## ふかわの昔ばなし

## 蚊帳いらいざ

昔 奥迫の里に一軒の貧しい農家がありました。その家には老婆と息子が仲良く住んでいました。

ある夏の夕暮れ、古びた衣をまとった僧侶が農家の戸口に立ち、一夜の宿をお願いしました。老婆は「いらんの通り私の家は大変貧乏で蚊帳すらございませぬ。その上、水にも不自由しており、お風呂にも入っていただけませぬ」と断りました。僧侶は「いやいや、私は夜露さえしのげればよいのです」と言われるので一夜の宿として使ってもらうことにしました。不思議なことにその夜は蚊が一匹も入って来ず、蚊に悩まされることもなくおかゆを食べ、白湯を飲みながら夜遅くまで僧の話聞いたといひます。

翌朝僧侶は心あたたまるもてなしに礼を述べ、「婆さん、そんなに水に不自由していなさるか」と言って、杖で庭前をぐるぐるかき回しました。不思議なことに、そこからこんこんと冷たい水が湧き出てきました。それ以来、その家には蚊が入らぬ「蚊帳いらす」と人々が呼ぶようになりました。老婆と息子は、いつまでも立ち去る僧侶の後ろ姿に手を合わせていたといひます。

深川郷土史研究会

升尾 成美